

令和元年度第 1 回 大津町振興総合計画等評価委員会 議事概要

【日 時】令和元年 11 月 21 日（木）9:00～

【場 所】大津町役場 2 階 大会議室

【出席者】委員 14 名

■次第

1. 開会

2. 町長挨拶

3. 委員長挨拶

4. 事務局説明

5. 議事

①第 6 次大津町振興総合計画に基づく各施策評価について

（総務部、土木部、議会事務局の関連施策）

②その他

7. 閉会

質問・意見等	回答
産業「中心市街地の活性化と商業・業務機能の集積」について（17 頁）	
● 肥後大津駅や、南阿蘇鉄道について、大津町が交通の要衝としての役割を維持するための対応が必要ではないか。 ● 大津駅周辺開発の取組の中で、ソロ像を観光資材として活用するための案内道路等必要ではないか。 【山下委員（肥後おおづ観光協会理事長）】	● 南阿蘇鉄道の肥後大津駅への乗り入れや、分岐・延伸について、南阿蘇村や高森町といった周辺地域と連携し進めていきたい。 ● スポーツコミッションの取組と肥後大津駅の活用を連携させたい。 ● ソロ像については、中央公園までのルートなど実行委員会や周辺の皆様と考えていきたい。
● スポーツの森に新駅を設置することで、観光アクセス向上につながるのではないか。 ● 自転車ネットワーク推進協議会が発足するなど、スポーツコミッションを考えるうえで、スポーツの森は起点となる。交流人口増加の為に新駅設置は有益な策ではないか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● スポーツの森へのアクセスも含め、鉄道、路線バス、乗り合いタクシー等公共交通の大幅な見直しが必要な時期に来ていると考える。
教育・文化「社会を生きる力の育成」について（51、52 頁）	
● 52 頁の成果指標が空白なのはなぜか 【阿部委員（公募委員）】	● 施策の内容により設定しにくい部分は空白にしている。
● 51 頁の助成金について、現状 15 万円から今後増額されることはあるのか。 ● 国際交流協会の現状を知りたい。	● 助成金は今のところ 15 万円となっている。 ● 国際交流会では、ホームステイに関すること、県の国際交流祭典での PR 活動、在住外国人

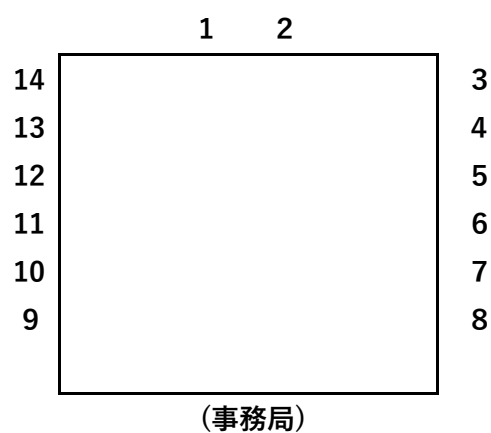
【中尾委員（大津町教育委員会委員）】	との交流企画、大津まちおこし大学での英語演劇の開催等を行っている。
生活環境基盤「南部・北部まちづくり計画の推進」について（57 頁）	
● 町道の整備、観光資源の活用、サイン事業、マップ事業等、6年前から進んでいない。自転車サイクリングロードについても構想が具体的にまとまっていないように感じる。 【坂本委員（JA 菊池大津中央支所）】	● サイクリングロード整備は、国の補助で県が計画している。補助金が重複すると返還するよう指導される可能性もあることから、横の連携を図ることが必要。横断的な目的の共有化を図り、事業を中断することも判断の一つと考えている。
● 優先度を上げる条件はあるのか。 【黄委員長】	● 南部、北部それぞれ予算はある程度確保できている。各課で責任感とスピード感を持った対応を都市計画課から働きかけていく。
● 江藤家住宅へ行く四つ角を改善して欲しい。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 陣内の交差点改良については、北側、南側共に地権者の同意が得られず、進んでいない。建設課としては、今後も検討、協力し取り組んでいく。
生活環境基盤「身近な公園・緑地の整備」について（62 頁）	
● 62 頁の肥大化した高木、ツツジ等の伐採について、日吉神社は入っているのか。 ● 以前のように回遊できるようにしてほしい。 【山本委員（大津町商工会副会長 商工会女性部部長）】	● 日吉神社は観光スポットとして整備している。ツツジ自体を切ることはない。 ● 皆様の意見を聞きながら今後の事業として均衡のとれた作業に努めたい。
● 記念碑が復旧する予定はあるのか。 【山本委員（大津町商工会副会長 商工会女性部部長）】	● 重機が入らないような崖の為、復旧はかなり難しく、観光地として PR 出来る状況にはない。観光協会や商工会の方々と話し合っていきたい。
生活環境基盤「良質な住環境の確保 指標：公営住宅長寿命化計画進捗率」について（66 頁）	
● あけぼの団地の 4 階 5 階にある空家を、若い世代が入居できるように基準を緩和してはどうか。 ● 来年度のあけぼの団地の改修は、何棟か。 【豊住委員（大津町民生委員児童委員協議会顧問）】	● 都市計画課はハード面の整備になる。入居については、次回、住民課が来た時に回答させて頂く。 ● 庁舎建設、大津小学校と大津北中学校の増築で技術者が不足しているため、来年度は 1 棟の予算要望を考えている。
-	● 事業進捗の遅れについては、復旧復興を優先し、さらに緊急性の高いものは、公営住宅も含め早急に取り組みたい。
生活環境基盤「熊本地震からの創造的復旧・復興 指標：災害公営住宅」について（69 頁）	
● 69 頁の事業完了の遅れとは、都市計画の遅れなのか、業者がいないからなのか。 【中尾委員（大津町教育委員会委員）】	● 熊本県へ委託の設計が当初より 2 ヶ月位遅延したことと、発注業者の資機材不足、人材不足が主な要因。

生活環境基盤「下水道の整備」について（71 頁、72 頁）	
● 未接続世帯について、今後減少するのか。 【中尾委員（大津町教育委員会委員）】	● 高齢者の一人暮らしでは、資金面で難しい世帯もあるが、個別訪問を行うなど努力していきたい。
生活環境基盤「総合的な道路網の形成」について（75 頁、76 頁）	
● 国道 57 号 4 車線化事業は 3 万円で行ったのか。 【阿部委員（公募委員）】	● 国道なので国営事業で実施しており、大津町の予算負担は無い。3 万円は、近隣自治体で組織された期成会の負担金。
生活環境基盤「安全・安心な生活道路の形成」について（77 頁、78 頁）	
● 通学路に青い線をお願いしたい場合の申請方法を知りたい。 ● 年度が変わる毎に申請が必要か。 【宇野委員（公募委員）】	● 地元の区長さんや、PTAを通じ、意見等を付け加えたものを受け付けている。 ● 警察署と協議し危険な優先度を判断している。 ● 申請内容に変わりが無ければ、1 回で良い。
生活環境基盤「公共交通体系の整備」について（79 頁、80 頁）	
● バス路線について、大津北小学校に通う児童がいなければ、赤字路線ではないか。 ● 将来子供が減った場合どうなるのか。 【宇野委員（公募委員）】	● 赤字路線ではあるが、学生等利用者がいる為ゼロではない。路線バスが通るということで乗り合いタクシー区域から現在外れているが、利用者ニーズに寄った計画を考えたい。 ● 公共交通会議や教育委員会と話をしながら進めたい。
● セントラル病院移転後、乗り合いタクシーはどうなるのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● セントラル病院の利用者数、通院手段等、利用者ニーズを調査し前向きに検討したい。
● イオン大津店の空港ライナー専用パーク＆ライド駐車場の利用条件を知りたい。 【山本委員（大津町商工会副会長 商工会女性部部長）】	● イオンで買い物をし、イオンの窓口で手続きすると一定期間借りることができる。
● 乗り合いタクシー利用可能区域、利用方法について再度周知して欲しい。 【小西委員（大津町女性の会）】	● 再度周知したい。口コミで利用者が増加した事例もあるので、利便性を利用者の方々に広めて頂きたい。
● 小規模特認校に指定された大津東小学校は、通学が不便なので、乗り合いタクシーを利用出来れば、通学希望者が増えるのではないか。 【小西委員（大津町女性の会）】	● 乗り合いタクシーの用途は様々あるので、教育委員会等と協議したい。
生活環境基盤「公共交通体系の整備 指標：乗合タクシー利用者数（年間）」について（80 頁）	
● 80 頁、乗り合いタクシー利用者数の目標値 8,000 人に対し平成 30 年度は 8,386 人とあるが、達成度が B なのはなぜか。 【阿部委員（公募委員）】	● 80 頁は、従前値 8,621 人に対し平成 30 年度は 8,386 人と僅かながら減少したため、達成度は B とした。

生活環境基盤「地域防犯対策の強化」について（89 頁、90 頁）	
● 街灯設置の際、灯りを遮る樹木の伐採等、周辺環境も整備して欲しい。防犯カメラも設置して欲しい。 【小西委員（大津町女性の会）】	● 防犯灯については、区長さんの申請等確認しながら進めたい。防犯カメラ設置も拡大する方向で取り組んでいる。
生活環境基盤「交通安全対策の推進 指標：交通（人身）事故件数」について、（92 頁）「消費生活の安全強化 指標：消費生活相談件数」について（94 頁）	
● 92 頁、交通（人身）事故件数の目標値 120 件に対し平成 30 年度は 113 件とあるが、達成度が B なのはなぜか。 ● 94 頁、消費生活相談件数の目標値 70 件に対し平成 30 年度は 74 件とあるが、達成度が A なのはなぜか。 【阿部委員（公募委員）】	● 評価の仕方は数値で表せるものは、例えば道路工事予定区間が実行されたら達成度 A となる。教育に関する事業などは評価の仕方が難しい。長年の勤務経験を活かしながら考えていきたい。
町政運営「人材育成の推進」について（105 頁、106 頁）	
● 不適切な事務処理等ありと記載されているが達成度 A となっている。不祥事があった場合評価は D にすべきではないか。 【坂本委員（JA 菊池大津中央支所）】	● 今後は全体的に評価し判断していきたい。
「遊具」について	
● 中島神社の遊具が危険ということで撤去して貰ったが、公園に設置する遊具の基準を知りたい。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 児童館には遊び方の指導員を配置する基準があるが、地区の公園に指導員はいない為、危険だと考える。老朽化した場合の点検も難しい。撤去は町の助成金があるが、設置の助成は現在ないため、今後の検討課題としたい。
「その他」について	
● 次回 26 日は、今日の部分の質疑応答は無いと考えて良いか。 【黄委員長】	● 今回とは別の課が出席するので、質疑応答は無い。今日の部分の質疑については、事務局を通して各課で確認し、回答する。
● 観光については、次回も質問できるのか。 【山下委員（肥後おおづ観光協会）】	● 先に事務局へ質問を出して頂きたい。

以上

区分	所属等	氏名	席番号
学識経験者	熊本県立大学	黄 在南	1
関係機関及び団体	大津町区長会	西本 哲治	2
関係機関及び団体	大津町防災士連絡協議会	府内 清喜	3
関係機関及び団体	大津町女性の会	小西 悦子	4
関係機関及び団体	大津町民生委員児童委員協議会	豊住 幸夫	5
関係機関及び団体	大津町身体障害者福祉会	松本 カズヨ	6
関係機関及び団体	J A 菊池大津中央支所	坂本 一徳	7
関係機関及び団体	企業連絡協議会	國武 幸弘	8
関係機関及び団体	大津町商工会	山本 セツ	9
関係機関及び団体	肥後おおづ観光協会	山下 和貴	10
関係機関及び団体	大津町教育委員会委員	中尾 精一	11
その他町長が認めた者	公募委員	宇野 馨	12
その他町長が認めた者	公募委員	阿部 千波	13
その他町長が認めた者	公募委員	井川 邦子	14



令和元年度第1回 大津町振興総合計画等評価委員会 議事概要

【日 時】令和元年11月26日（火）9:00～

【場 所】大津町役場 2階 大会議室

【出席者】委員10名

■次第

1. 開会

2. 事務局説明

3. 議事

①第6次大津町振興総合計画に基づく各施策評価について

（住民福祉部、経済部、農業員会の関連施策）

②その他

4. 閉会

質問・意見等	回答
産業「農業の発展と魅力ある農業を創造する多様なひと・仕組みづくり」について（3頁、4頁）	
新規就農の実態を知りたい。 【府内委員（大津町防災士連絡協議会会長）】	- 現在、大津町内の補助金対象の就農者は、農業を続けている。 - 新規就農者が土地を取得し、その後放棄したという話はない。
産業「農地の保全と有効活用」について（7頁、8頁）、「農林基盤の整備とてきせいな維持管理」について（11頁）	
有害鳥獣対策について知りたい。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	- 来年度、罾の購入等、有害鳥獣対策費として予算要求予定。 「ストップザ餌付け」の学習会を地域で展開予定。
罾にかかった鳥獣の処理について知りたい。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	生体の場合、駆除隊が対応する。死体の場合は、原則としてその土地の所有者に埋設処理してもらう。
11頁の熊本県特定鳥獣適正管理事業で、二ホンジカ捕獲10頭とあるが、10頭以上捕ってはいけないという事なのか。有害鳥獣捕獲事業との整合性は図られているのか。 【黄委員長】	- 特定鳥獣適正管理事業とは、有害鳥獣捕獲によって二ホンジカを捕獲した者に対して報奨金を交付する場合、その経費の一部、1頭当たり千円を補助するもの。県全域であるため、補助金が出る頭数が限られる。 - イノシシの被害と比較すると、シカの被害の方が深刻な為、県が補助している。
産業「企業誘致の推進」について（13頁、14頁）	
立地協定の締結件数が、平成30年度6件とあるが、町内の雇用者がどのくらいか知りたい。 【豊住委員（大津町民生委員児童委員協議会顧問）】	平成30年度時点では、協定の締結段階にあり、雇用結果は出ていない。約122人を新たに雇用する計画で、大津町民を雇用した場合、1人当たり30万円の補助金が支給される。

産業「スポーツコンベンションの推進」について（25 頁）	
● スポーツコミッションについて具体的に知りたい。 【宇野委員（公募委員）】	● スポーツコミッションとは、スポーツを通じて地域活性化を目指す取組。イベントの開催、合宿の誘致等による、交流人口の増加、更には経済的効果も期待される事業。 ● 予算については、30 年度は、設立時点での事業費が必要なかったため、ゼロとしている。 ● 今年度は、スポーツ庁からの補助金で、大学やＪリーグチームの合宿の誘致や、川下り、茶道、弓道等の体験プログラムの実施といった事業を展開している。
● 26 頁の、観光入込客数は、外国人と国内の区別はできないか。 ● 外国人観光客の割合はどのくらいか。 【黄委員長】	● 宿泊者数、27 万 6 千人のうち約 8 千 4 百人が外国人。 ● 外国人の割合は、約 3%。
● スポーツコミッションで考えると、団体設立等、成果が出ているので、評価結果ＣをＢへ上げてよいのではないか。 【中尾委員（大津町教育委員会委員）】	● 発足したばかりで、方向性を綿密に定める所まで至らなかった為、Ｃ評価とした。
● 宿泊者数、27 万 6 千人の中で、仕事や観光など宿泊目的の内訳を知りたい。 【黄委員長】	● 観光統計調査では、宿泊目的は分からない。今後、宿泊施設に依頼する事は可能。
● 22 頁の、3 大祭りとは、「からいもフェスティバル」と残り 2 つは何祭りか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 大津三大祭りとは、「からいもフェスティバル」、「大津つつじ祭」、「大津地蔵祭」。
● スポーツコミッションは、スポーツの森を活用するのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● スポーツコミッションでは、合宿や大会の誘致はスポーツの森を活用し、町内に宿泊していただくという設定。
● スポーツの森に新駅を設置し、利便性を高めることについてどう考えているか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 新駅設置は、誘客しやすくなると考える。
保健・福祉「地域福祉の充実」について（27 頁）	
● 災害時避難行動要支援者支援事業について、ネットワーク等の状況を知りたい。 【豊住委員（大津町民生委員児童委員協議会顧問）】	● 同意を貰った方の名簿を、区長、民生委員、警察、消防へ配布している。 ● 個別的にはケアマネジャーが把握している。 ● 名簿の活用方法については、広報、啓発を進めながら地域に応じた内容で提案したい。
保健・福祉「笑顔でつなぐ元気で健やかなまち」について（29 頁、30 頁）	
● 緊急医療情報キット（命のバトン）の普及率はどうなっているのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 希望者に配布している。

保健・福祉「高齢者が活躍する場の充実」について（37 頁、38 頁）	
● シルバー人材センターの定年はあるのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 年齢の上限はない。
● 老人クラブ連合会会員数の目標値はこれでもいいのか。 ● 何名からが老人クラブにできるのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 補助金制度を活用して、増やしていきたいと考えている。 ● 老人クラブは、10 人からでもできる。ただし、県の補助事業では 20～30 名以上となっているので、町で予算を組んでいる。
保健・福祉「高齢者福祉サービスの充実と地域包括ケアシステムの構築」について（39 頁）	
● 地域包括ケアシステムの構築で、認知症予防の推進や、住民への周知等しているので、評価 B というのはどうなのか。 【豊住委員（大津町民生委員児童委員協議会顧問）】	● 地域包括ケアシステムとしては、医療介護連携として菊池郡医師会等と毎年研修会を行っている。また、認知症サポーター研修では、延べ約 6,000 人が受講している。団体も年々増えているが、さらなる拡大が必要という事で B 評価としている。
福祉・保健「介護保険制度の円滑な運営」について（44 頁）	
● 保険料の納付方法が、年金からの天引きであれば、平成 30 年度の 65 歳以上の被保険者の保険料収納率が低いのはなぜか。 【宇野委員（公募委員）】	● 79.7%ではなく、97.7%の間違い。 ● 保険料の納付方法は、年金から天引きする特別徴収と、納付書により納める普通徴収があり、合わせて 97.7%となる。
● 保険料の滞納はあるのか。 【宇野委員（公募委員）】	● 保険料は納付期限から 2 年を経過すると、時効になり、支払うことができなくなる。過年度分の徴収についても力を入れている。
保健・福祉「町民の健康づくり（予防・健康管理の充実）」について（46 頁）	
● 今後の方向性で、訪問指導による重症化予防対策の柱としているとあるが、問題、課題があれば知りたい。 【中尾委員（大津町教育委員会委員）】	● 高血糖、高血圧、高脂質が重症化すると、人工透析が必要になり、年間約 500 万円と医療費圧迫の要因となる為、重症化予防対策の柱としている。 ● 保健師や管理栄養士が 1 軒 1 軒訪問し指導している。
福祉・保健「地域医療との連携拡充」について（48 頁）、「健康保険制度の円滑な運営」について（50 頁）	
● 48 頁の休日・夜間における診療体制を確保した日数 365 日と、50 頁の一般会計からの繰入額 0 円について、達成しているので A 評価でよいのではないか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 48 頁については、医療機関の人材等、将来的な部分を見据えて B 評価とした。50 頁については、単年度収支では、赤字の財政運営で前年度からの繰越金を充てている事情を踏まえ B 評価とした。
生活環境基盤「潤い豊かな水と緑の保全」について（81 頁、82 頁）	
● 水源地（真木、仮宿水源、日向川）の分析結果が環境基準内とあるが、何ヶ所で行ったのか。 【阿部委員（公募委員）】	● 河川の水質検査は 10 ヶ所で行った。

生活環境基盤「循環型社会の形成」について（83 頁、84 頁）	
● ごみ排出量に対する資源ごみの割合について、目標値 10%に対し平成 30 年度は 8.7%と減少している理由は何か。 【豊住委員（大津町民生委員児童委員協議会顧問）】	● 資源ごみの割合が減少した原因としては、世帯数の増加が関係していると考ええる。厳しいごみの分別基準に対する不満も人口増加に比例し増えていると考えられるが、町としては引き続き理解を求めたい。
生活環境基盤「生活環境の向上（公害の防止と環境保全の推進）」について（85 頁）	
● スズメバチの駆除業者は町内にあるのか。 【宇野委員（公募委員）】	● 町内にはなく、森林組合で行っている。
● 狂犬病予防注射接種率が 100%にならないのはなぜか。 ● 犬猫の登録状況はどうなっているのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 飼育者の狂犬病に対する認識不足が原因の一つと考えられる。町としては周知徹底していきたい。 ● 犬猫の登録状況は 100%ではない。
● 狂犬病の発病事例はあるのか。 【黄委員長】	● 把握している限りでは、発病の事例は無い。
● 猫の飼育管理状況はどうなっているのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 猫は登録制度が無く、改正動物愛護管理法により引き取りを拒否することが出来るようになっており、野放しの猫への対策が課題となっている。対策としては、動物愛護団体への相談や、避妊去勢手術の補助金（補助金交付額は 1 万円を限度とし、1 万円未満の場合は、手術料の 2 分の 1）を実施している。
生活環境基盤「温暖化対策の推進」について（87 頁、88 頁）	
● メガソーラーの今後の予定について知りたい。 【宇野委員（公募委員）】	● 国ではメガソーラーの環境アセスメント義務化へ向けて動いており、県もそれに合わせて条例を見直す考えで、町としては国、県の動向を見ながら検討していく。農政課、都市計画課と連携し取り組んでいきたい。
● メガソーラーについての説明会等してもらえるのか。 ● メガソーラーについて地元が反対しても進めるのか。 【宇野委員（公募委員）】	● 事業者による 2～3 回の説明会が予定されている。既に完成している物の説明会については、町からも事業者へ働きかけたいと考えている。 ● 法令にのっとった開発の場合、反対することは難しいが、森林やエネルギー関係の部署と連携し、調整池等防災面には配慮した物としたい。
● メガソーラーの設置については、地主の意見が優先されるのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 電力会社の許可が必要であるが、現在、環境影響評価（環境アセスメント）の制度が無い為、行政として制限することは難しい。
● 阿蘇外輪山一帯にメガソーラーが乱立しないような規制が必要ではないか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 国立公園の部分は、厳しい規制で守られている。それ以外についても、国や県の法令が整い次第、規制する方向で進めたい。

● メガソーラーではなく、各家庭にソーラー発電を設置できるようにした方が、クリーンエネルギーにつながると考えるが、補助金を見直してはどうか。 【府内委員（大津町防災士連絡協議会会長）】	● 家庭用省エネ機器設置率は、平成 30 年度が 11.3%と目標値を達成したという事で、区切りとして完了とした。
町政運営「情報化の推進・情報基盤の強化」について（109 頁）	
● 大津町のマイナンバーの交付率はどのくらいか。マイナンバーの交付率を指標にいれてもいいのではないか。 【阿部委員（公募委員）】	● 全体の 8%位。
ご意見シートについて	
● 評価も提出する必要があるのか。 【西本委員（大津町区長会副会長）】	● 提出の必要はない。
その他について	
● —	● 特に無し。

以上

区分	所属等	氏名	席番号
学識経験者	熊本県立大学	黄 在南	11
関係機関及び団体	大津町区長会	西本 哲治	1
関係機関及び団体	大津町防災士連絡協議会	府内 清喜	2
関係機関及び団体	大津町民生委員児童委員協議会	豊住 幸夫	4
関係機関及び団体	大津町身体障害者福祉会	松本 カズヨ	5
関係機関及び団体	企業連絡協議会	國武 幸弘	7
関係機関及び団体	大津町教育委員会委員	中尾 精一	10
その他町長が認めた者	公募委員	宇野 馨	12
その他町長が認めた者	公募委員	阿部 千波	13
その他町長が認めた者	公募委員	井川 邦子	14

